

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：湘南あかね保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：佐久間 葉子	定員（利用人数）：64名（利用者 58名）	
所在地：〒252-0804 藤沢市湘南台2-18-7-1階		
TEL：0466-90-5803		
ホームページ：http://www.tomoni.or.jp/akane/		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2020年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 県央福社会		
職員数	常勤職員：10名 非常勤職員：13名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 16名	管理栄養士 1名
	保育補助 1名	調理師 2名
	事務員 1名	調理員 1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6室 トイレ：3ヶ所	
	（設備等）調理室：1（22.18㎡） 事務室：1（12.16㎡）	
	園庭：なし（原谷公園）	

③理念・基本方針

県央福社会 理念

- 1 ソーシャルインクルージョン（共生社会）を目指します。
- 2 先駆的で開拓的な事業を展開します。

県央福社会 9保育園の基本方針

- 1 全ての保育を必要とする子どもの環境整備に努めます
- 2 子どもの発達や成長に沿った保育や支援を行います。
- 3 時代の変化にともなうニーズに即した保育と子育て支援をプロデュースします。

湘南あかね保育園の理念

あそびを通して「あたま・からだ・こころ」を育てることを目標として、学びに向かう土台づくりをします。

湘南あかね保育園の方針

- ① 一人一人の成長・発達を理解し、子どもの個性・人格を育みます。
- ② 人とのかわり、人を大切にする心をつくります。
- ③ 安全で安心できる人的・物的保育環境を整えます。
- ④ 遊びを通して元気な体をつくります。
- ⑤ 発達に応じた様々な食の体験をし、気持ちよく楽しく食事をします。
- ⑥ 保護者との連携を強めて、地域と一緒に子どもの成長を支えます。
- ⑦ 地域との連携を強めて、それぞれの子どもの成長を支えます。
- ⑧ 障がい児保育にも取り組みます。
- ⑨ 専門家の研修を受けられる環境を設定し、保育の質の向上に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組

園児

- ・ 駅近の利便性を生かし、電車やバスで園外保育を楽しむ
- ・ 2歳児から5歳児クラスは基礎運動能力を高めながら体と心を磨いていく

この2本を柱に昨年4月に開園しました。わくわくが学びにスタートです。

地域や小学校との連携も足踏み状態のコロナ禍の子どもたちの心や身体をやる気やパワーになるよう成長を支えています。昨年度から「湘南あかね保育園のうた」で子どもたちにそして保護者に園からのメッセージを伝えています。感性を育てる事も重点の目標に掲げています。～身体表現活動（遊びのクリエイターが年6回来園）、形容詞をたくさん用いてイメージを膨らませていく。「ですます」できれいな日本語を子どもたちに伝えていく。

「ほめ育」「成功体験」を日々の保育に取り入れています。～体操、絵画、飼育、栽培、**食育**

園庭がないので運動遊びを大切に考え取り組んでいます。体操専任講師（2歳以上年36回）により体操（跳び箱・鉄棒・マット・縄跳びなど）を行い体操参観日や運動会で成果を保護者に見ていただいています。

夏の水遊びブースも作りました。

保護者

保育（ICT）サービスの導入・オムツとおしり拭き月額定額制（手ぶら登園）

毎日の給食とおやつを園児の目線に合わせたスライドショーで提供・日めくりカレンダーにて子育てのワンポイントアドバイス 0歳児はルクミー午睡チェックの導入により2重チェック

職員

子どもの発達のみえる化して保育の質の向上に役立っています。

キッズリー（ICTサービス）の導入と紙おむつのサブスク開始で、保育士の業務の合理化と効率化を諮っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年4月27日（契約日） ～ 令和3年11月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（前回： - 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 保育環境を生かした活動と健康な体づくりへの取組

園舎は駅近のマンションの一面にあるため園庭はありませんが、この環境を生かした保育活動を取り入れて子どもが楽しくさまざまなことを学べる機会としています。積極的に散歩へ出かけることはもちろん、駅に近い利便性を生かし電車やバスを利用しての園外保育も取り入れています。また、運動遊びを大切に考え、体操の専任講師による跳び箱、鉄棒、マット、縄跳び等の運動遊びや、遊びのクリエイターによる身体表現遊び、体操、リトミック遊び等、身体を動かす事が出来るような保育内容を積極的に行っています。

2) 保育所内での情報共有の仕組み

子どもの発達状況や生活状況は、保育日誌、保育要録、児童個別ファイル、連絡帳アプリケーション、昼礼ノート、健康台帳等統一した様式によって記録しています。それぞれの記録はフォルダーで整理され共有できる様になっています。コンピューターネット

ワークや記録ファイル等を通じて、情報を共有する仕組みが整備され、保育の見える化が図られています。

3) 職員の労働環境への配慮

職員の働きやすさやワークライフバランスに配慮しています。主任は毎日その日の職員配置を考え、保育士が業務時間内に事務的な業務ができる様に配慮しているため、時間外労働が減少しています。連絡帳アプリケーションや紙おむつの月額定額制導入で業務の合理化と効率化を図っています。メンターメンティ制度（法人内他園の先輩職員が新任職員をサポートする制度）の活用など働きやすい環境を整備しています。

◇改善を求められる点

1) 調理室と保護者等との活発な取組

園は直営の給食提供を行っています。ガラス張りの調理室は子ども達からも見え、あかね色の制服が明るさを引きだしています。食育年間計画を基に食育活動が行われ食品に関心が持てる取組やクッキング保育等が行われています。管理栄養士が食事場面の様子を見る事もありますが、今後は更に踏み込み、栄養や食材の話を直接話す機会や保護者に対しレシピの配布、試食会（コロナ収束時）等管理栄養士を中心に子どもや家庭とを繋ぐ活発な取組が展開されることを期待します。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園2年目にはじめて第三者評価を受審しました。地域との連家（お祭りの手伝い）や近隣園や小学校との交流など、活発に活動していきたかったのですが、コロナ禍の開園の為、実施できませんでした。

今年度、法人として取り組んだ「組織効果診断」で100以上ある事業所の中で、「湘南あかね保育園」は第9位と高い評価を受け、職員の前向きな意識や取り組みが確認できました。

今後はより一層、園児一人ひとりの発達に合わせた保育を行うこと、「b判定」の項目に関して細かく分析すること、社会福祉法人の役割を明確にして共通意識を持つこと。そして「選ばれる保育園」になれますよう、邁進していきたいと考えています。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり